

富沢中学校における登校に不安や悩みがある生徒・保護者への支援について

(令和6年7月16日 富沢中学校長)

- 1 登校することに不安や悩みがある生徒に寄り添い、また、保護者の皆様と協力し、教育相談や学びの継続、校内の居場所づくりに努めるとともに、学校以外の学びの場とも連携し、支援を行います。
- 2 生徒や保護者で不安や悩みを感じている際は、教員（学級担任に限りません）のほか、校長・教頭、養護教諭、スクールカウンセラー（さわやか相談員）などが相談支援を行います。連絡アプリ（まなびポケット）やお電話、連絡帳等でご連絡いただき、ご希望に応じて、教育相談の機会を設けます。
- 3 相談について、次のような支援をしています。
 - ◆学校で行う生徒との教育相談：毎年7月～8月と11月～12月に予定していますが、それ以外の日でも相談することができますので、いつでもご相談ください。
 - ◆スクールカウンセラー：毎週金曜日に来ています。相談時間の予約が必要です。予約は直接ご連絡（245-4351）しても、学級担任へ相談していただくこともできます。
 - ◆スクールソーシャルワーカー：原則毎週火曜日に来ています。相談時間の予約が必要です。予約は学校（245-3751）までご連絡をお願いします。
 - ◆さわやか相談員：教員や専門職とは異なる立場で、児童（生徒）のお話を聞きます。
 - ◆休みがちな生徒の保護者や登校に難しさを抱える生徒の保護者、ステップルームを利用している生徒の保護者を対象に、「ひまわりの会」（親の会）を年間7回開催してまいります。保護者同士の情報交換や今後の支援の在り方について考える機会としてまいります。
 - ◆教職員間の情報共有：生徒が抱える不安や悩みの状況に関係する教職員の間で共有し、的確な支援が行えるようにしています。
- 4 支援について、次のような取組をしています。
 - ◆在籍学級に入りにくさを感じている場合の居場所として、ステップルーム（別室）を用意しています。ステップルームでは、複数の専任教員が在室し、学習支援や保護者への連絡などの対応を行います。創作活動やコミュニケーション活動を通して、生徒同士の関わりをサポートします。
 - ◆学習用端末（クロームブック）などを通じて、オンラインで授業や学級活動の様子を見ることがあります。
 - ◆不登校支援コーディネーターや各学年の不登校支援担当が中心となり、生徒の様子や支援の在り方について学級担任と情報共有を図り、具体的な支援を該当生徒と保護者に提案してまいります。
- 5 児童（生徒）が安心して学ぶことができるように、学校外施設とも連携しながら、支援を行います。主な学校外施設は「仙台市教育支援センター」のWebページにまとめてあります。教育支援センターのアドレスは以下のとおりです。
(「教育支援センター」 <https://sites.google.com/g.sendai-c.ed.jp/jiyu>)

富沢中学校は、これからも、登校に不安や悩みがある生徒が安心して学べる環境を整えることを目指し、上記の内容に取り組みます。ご相談は、富沢中学校職員室（245-3751）までお願いします。